

令和元年5月1日

中国地区各県小学校長会
会 員 様

第66回 中国地区小学校長会教育研究大会鳥取大会
令和元年度 鳥取県小学校長会教育研究大会鳥取大会

大会会長 永見文彦
(鳥取県小学校長会長)

第66回 中国地区小学校長会教育研究大会鳥取大会
令和元年度 鳥取県小学校長会教育研究大会鳥取大会

～ 案 内 ～

薫風の候 会員の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の大会を、下記のとおり実施することにいたしました。

新たな時代の要請に応える教育の推進のため、全国連合小学校長会の大会主題を踏まえ、副主題を「高い志を持ち、自らの未来を主体的に切り拓き、共によりよい社会を創ろうとする子どもを育てる学校経営の推進」とし、次の時代に向けた小学校教育のあり方を究明することにより、本大会の目的を達成したいと思います。多数の会員の皆様のご参加をお願いします。

記

- 1 主 催 中国地区小学校長会 鳥取県小学校長会
- 2 後 援 鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥取支部 全国連合小学校長会
- 3 期 日 令和元年11月8日(金)
- 4 会 場 【全体会】とりぎん文化会館(鳥取県立県民文化会館)
〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5
Tel 0857-21-8700 Fax 0857-21-8705
【分科会】とりぎん文化会館(7会場)
鳥取市福祉文化会館(3会場)

5 大会主題

新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く
日本人の育成を目指す小学校教育の推進

～高い志を持ち、自らの未来を主体的に切り拓き、
共によりよい社会を創ろうとする子どもを育てる学校経営の推進～

6 記念講演 講師：重要無形文化財「白磁」保持者 前田 昭博 氏
 演題：「陶芸と私」

7 参加費 6,000円（弁当代を含む）

8 日 程

11月7日（木）	14:30～20:00	理事会・懇親会
11月8日（金）	9:00～9:50	受付
	9:50～10:30	開会式
	10:40～11:00	全体会（趣旨説明，次期開催県挨拶）
	11:00～12:20	記念講演
	12:20～13:30	昼食・休憩・移動（分科会打合せ会）
	13:30～16:30	分科会（各会場）

※中国地区理事会・懇親会 11月7日（木） 14:30～ 白兔会館
 分科会打合せ会 11月8日（金） 12:40～ 分科会各会場

9 分科会会場・各県の参加割当

☆印 分科会提案県：開催県以外30%割当（◎残席多く調整可能）

施設	研究領域	会場	分科会名	山口県	広島県	岡山県	島根県	鳥取県	合計
1	I 学校経営	A	① 経営ビジョン	8	13	☆13	5	☆13	52
			② 組織・運営						
		B	③ 評価・改善	8	☆15	10	5	☆13	◎51
	II 教育課程	C	④ 知性・創造性	☆11	14	11	6	☆12	◎54
		D	⑤ 豊かな人間性	8	☆15	10	5	☆13	◎51
			⑥ 健やかな体						
		III 指導育成	E	⑦ 研究・研修	8	☆15	11	5	☆13
	F		⑧ リーダー育成	☆11	14	10	6	☆12	53
	IV 危機管理	G	⑨ 学校安全	8	13	☆14	6	☆12	53
		H	⑩ 危機対応	8	14	11	☆8	☆12	53
2	V 教育課題	I	⑪ 社会形成能力	8	14	☆14	5	☆12	53
		J	⑫ 自立と共生	8	14	10	☆8	☆12	52
			⑬ 連携・接続						
合計				86	141	114	59	124	524
各県小学校数（R元年度）				285	470	379	197	124	1455

<施設1> とりぎん文化会館（会場：A・B・C・D・E・F・G）

<施設2> 鳥取市福祉文化会館（会場：H・I・J）

10 大会主題・副主題及び趣旨

大会主題 「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く
日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

大会副主題 ～高い志を持ち、自らの未来を主体的に切り拓き、
共によりよい社会を創ろうとする子どもを育てる学校経営の推進～

【趣旨】

全国連合小学校長会は、変化の激しい時代の要請に応える教育の推進のために、平成25年度から大会主題を「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」と設定した。そこで、中国地区小学校長会も歩みを共にし、この大会主題のもと、各県において研究実践を進め、その実現を目指し、取り組んできた。

近年、知識基盤社会における知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的となり、情報化やグローバル化が進展し、第4次産業革命といわれる人工知能の開発も人間の予測を超えて急激に進んでいる。また、少子高齢化が急激に進む中、地域コミュニティ機能の弱体化など、子どもを取り巻く社会情勢もめまぐるしく変化し続けている。

このような社会状況や子どもを取り巻く変化を踏まえ、子どもたちが自分のよさや可能性を認識し、高い志を持ち、多様な人々と協働しながら、自らの未来を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を身につけることが求められている。

そこで、学校教育においては、「自立した人格を持つ人間として、他者と協働しながら、新しい価値を創造する力」「主体的に学ぶ力」「豊かな人間性」など、これからの社会で求められる資質・能力を育成していかななくてはならない。

そのためには、教育課程を介して「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校、家庭、地域が共有し、連携・協働しながら社会全体で子どもたちを育てていくことが必要である。

私たち校長は、確固たる教育理念や学校改善に向けた意志を持ち、新学習指導要領の理念のもと、新たな価値を創造していく未来の形成者たる子どもたちに必要な資質の育成を目指さなくてはならない。リーダーシップを発揮し、教育活動を実際に行う現場の教職員の力を統合し、教職員が主体的に歩み出せるよう、協働の組織づくりやマネジメントの仕組みを整え、教育のイノベーションの創出を図らなくてはならない。

以上のことを踏まえ、本大会では、これまでの成果と課題を受け継ぎ、副主題に「高い志を持ち、自らの未来を主体的に切り拓き、共によりよい社会を創ろうとする子どもを育てる学校経営の推進」を掲げ、確かな実践を積み重ねる校長としての責務と指導性を究明することとした。

【分科会】

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|------------|
| (1) 経営ビジョン | (2) 組織・運営 | (3) 評価・改善 | (4) 知性・創造性 |
| (5) 豊かな人間性 | (6) 健やかな体 | (7) 研究・研修 | (8) リーダー育成 |
| (9) 学校安全 | (10) 危機対応 | (11) 社会形成能力 | (12) 自立と共生 |
| (13) 連携・接続 | | | |

11 分科会領域・研究課題・趣旨

【研究領域 I 学校経営】

● 第1分科会 …… 経営ビジョン

【研究課題】 子どもたちの未来に目を向けた創意と活力に満ちた学校経営と校長の役割

【趣 旨】

あらゆる分野でグローバル化、価値観の多様化が著しく進展する中、学校教育に対する保護者や地域社会のニーズも大きく変化してきている。学校では、こうした社会の変化と教育課題を踏まえ、新しい時代に対応した学校経営ビジョンを明確にして教育活動を展開させ、絶えずその評価と改善を進めていかなければならない。

そのために、校長は、的確な先見性とリーダーシップを発揮し、すべての教職員が家庭・地域と連携し学校経営への参画意識を高め、また様々な関係機関と協働する働きかけを仕組むことが必要である。さらに、学校経営ビジョンを全教職員や家庭・地域と共有した学校経営を行わなくてはならない。

そこで、本分科会では、子どもたちの未来に目を向けた明確なビジョンに基づく創意と活力に満ちた学校経営推進のあり方を求め、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

● 第2分科会 …… 組織・運営

【研究課題】 学校経営ビジョンの実現を図る活力ある組織・運営と校長の役割

【趣 旨】

今日、知識基盤社会やグローバル化が著しく進展する中、少子高齢化、人間関係の希薄化、家庭や地域の教育力の低下など、学校を取り巻く課題は多い。また、学校は絶えず知の更新を図り、どのような変化にも対応できる柔軟な思考や知恵をもち、課題を解決できる子どもを育成しなければならない。さらに、多様な価値観や個性を尊重し、つながりを深め、よりよい社会を築こうとする子どもの育成が求められている。

そのために、校長は、学校経営ビジョンを明確に示し、リーダーシップを発揮し、その実現を図る活力ある組織づくりを推進するとともに、教職員の学校経営への参画・協働意識を高めることが重要になってくる。教職員一人一人が自覚と意欲をもって組織を機能させ、一丸となって学校運営を推進する体制づくりをしなければならない。また、点検・評価を絶えず実施するとともに、専門家や関係機関、地域関係者などと連携した体制づくりも大切である。

そこで、本分科会では、校長の示す学校経営ビジョンの具現化を図るため、活力ある組織づくりと学校運営のあり方を求め、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

● 第3分科会 …… 評価・改善

【研究課題】 未来の創り手を育成する学校経営の評価・改善と校長の役割

【趣 旨】

社会的変化が激しく、加速度的に進展する予測困難な時代にあっては、子どもたちに社会の変化と主体的に向き合い、よりよい未来の創り手となるための資質・能力を育むことが必要である。こうした中で校長には、時代の変化を見据えた学校経営ビジョンを策定し、組織的、継続的な教育活動の展開を図る評価・改善を進めていくことが求められている。

そのために、校長は、学校教育目標の実現に向けて、教育課程を中心に据え、全教職員が適切に役割を分担し、相互に連携しながら、教育活動の質の向上に努め、組織的かつ計画的で、実効性の高い評価・改善を推進していかなければならない。また、信頼性を高め、協働的な学校経営を促進するためには、家庭や地域の人々と学校経営ビジョンを共有し、連携しながら評価・改善を進めていく必要がある。

そこで、本分科会では、未来の創り手を育成する学校経営の評価・改善の在り方を求め、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

【研究領域 II 教育課程】

● 第4分科会 …… 知性・創造性

【研究課題】 知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメント

【趣 旨】

科学技術の高度化、グローバル化の進展、少子高齢化による生産人口の減少化が進む今後の社会においては、これまでに経験したことのない様々な課題が表出してくると思われる。このような状況の中、人間性豊かな社会を形成することのできるしなやかな知性と豊かな創造性を兼ね備えた日本人の育成が強く求められている。この度の新学習指導要領において、「育成すべき資質・能力」として、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」が三つの柱として定められたのもそのためである。したがって、今後学校は、家庭・地域の関係者と教育のねらいを共有して、子どもたちが主体的に関わり合い学び合う協働的な学習活動や子どもたちが地域への関心を高める学習活動を展開していかなければならない。

そのために、校長は、家庭・地域とのつながりを意識しながら、めざす子ども像を明確にして具体的な学校経営目標を設定する必要がある。そして、その実現のために「チーム学校」として組織的に教育課程を編成し、PDCAサイクルを機能させていくことが求められる。

そこで、本分科会では、知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の役割や指導性について究明する。

● 第5分科会 …… 豊かな人間性

【研究課題】 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント

【趣 旨】

情報化やグローバル化といった社会変化が複雑で予測困難な時代の中でも、児童一人一人が社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って、関わり合い、自らの可能性を發揮し、多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることが求められている。

そのために、校長は、学校の教育活動を進めるに当たって、子どもたちに自らを律しつつ他者とともに協調し、他者を思いやる心や感動する心などの「豊かな人間性」を培い、「確かな学力」「健やかな体」の育成とあわせて、「生きる力」を育むことを目指した教育の充実に努めなければならない。中でも道徳教育は、「豊かな心」の涵養を目指した教育の要である。「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かすこと」が求められていることを踏まえ、子どもたち一人一人が自己を見つめることで、固有の人格を形成し、自己実現していくことが重要である。

そこで、本分科会では、道徳教育や体験活動、人権教育等を通して、子どもたちに「豊かな人間性」を涵養していくためのカリキュラム・マネジメント、さらには校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

● 第6分科会 …… 健やかな体

【研究課題】 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント

【趣 旨】

近年の社会環境や生活環境の急速な変化は、子どもたちの生活習慣や心身の成長・発達に大きな影響をもたらしている。体力・運動面からは、その能力の低下、運動への関心や意欲の低下、運動の二極化傾向などが指摘されている。健康面からも基本的な生活習慣の乱れ、ストレスや肥満傾向の増加、生活習慣病の危険性、喫煙や薬物乱用にもともなう健康被害なども問題視されている。こうした現状においては、子ども一人一人が運動や健康・安全の大切さについての意識を高め、生涯にわたり自らの健康を維持・向上・改善しようとする能力や態度の育成が求められている。

そのために、校長は、子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現することのできる資質・能力を育成し、心豊かで活力ある生活を送るために必要な心身の健康についての関心を高め、自らの体づくりや健康づくりに主体的に取り組む態度を育成することができる教育課程の編成・実施に努める必要がある。その中で、家庭や地域との役割を明確にしつつ、学校での教育活動と併せて、家庭や地域、さらには保健医療等の関係機関との連携充実に取り組む必要もある。

そこで、本分科会では、子どもたちが生涯にわたって運動に親しむことのできる体力や運動能力の育成と主体的・実践的な態度を育む心身の健康づくりを推進するためのカリキュラム・マネジメントの確立に向けて、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

【研究領域 III 指導育成】

● 第7分科会 …… 研究・研修

【研究課題】 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進と校長の役割

【趣 旨】

情報化・グローバル化による社会的な変化は、今後、人工知能の急速な進化とともに加速度を増して進み、複雑で予測困難な社会になると予想される。そのような中、学校教育を取り巻く課題も複雑化・多様化し、子どもたちの生き方にも大きな影響を与えている。

このような時代に、これからの教職員に必要とされる指導力は、学習指導・生徒指導・学級経営等の能力はもとより、時代の変化に柔軟に対応できる力、危機管理能力、さらには保護者への対応力等をも含めた総合的で質の高いものとなる。加えて、人間性豊かな子どもを育成するためには、教職員自らが教職に対する強い情熱と使命感、自己研鑽に努める意欲をもち続けなければならない。

そのために、校長は、教職員一人一人の特性や力量を見極め、個々に応じた的確なミッションと具体的な解決に向けたビジョンをもたせるとともに、教職員の資質・能力、組織力の向上、学校経営への参画意識を高める研究・研修体制を構築する必要がある。

そこで、本分科会では、教職員の資質・能力の向上を図り、将来への展望や学校経営への参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制のあり方と校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

● 第8分科会 …… リーダー育成

【研究課題】 これからの学校を担うリーダーの育成と校長の役割

【趣 旨】

社会の様々な変化が進む中、学校には「新たな知を拓く」教育の実践や様々な教育課題への対応が求められ、その達成に向け学校の教育力を高めていくことが重要になっている。また、将来にわたって子どもたちに夢や目標を持たせ、豊かな発想や新たな価値を生み出す教職員組織が必要であり、その中核となるミドルリーダーには、教育活動全体を見渡せる広い見識と実践的指導力、組織を効果的に機能させるための調整力や柔軟かつ迅速な対応力などが求められる。

そのために、校長は、教職員一人一人の専門性やよさを生かし、校務分掌を通して幅広い経験をさせるとともに、経営者意識を持たせることが重要である。さらに、授業力・指導力の把握はもとより、教育活動を展開・推進する意欲、他の教職員と協働する能力など、学校を担うリーダーとしての力量を見極め、その資質・能力の一層の伸長に努めなければならない。

そこで、本分科会では、学校教育への確かな展望と実践力を身につけ、これからの学校を担っていくミドルリーダーを意図的・計画的に育成するために、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

【研究領域 IV 危機管理】

● 第9分科会 …… 学校安全

【研究課題】 自らの命を守る防災教育・安全教育の推進と校長の役割

【趣 旨】

阪神淡路大震災や東日本大震災の発生など、我が国は未曾有の大災害を経験した。近年においても、全国各地で地震や大型台風・局地的な豪雨などが頻繁に発生し、大きな被害をもたらしている。また、交通事故や不審者による犯罪をはじめ子どもが被害者となる事故・事件、さらには、携帯電話やインターネットに関わる犯罪の発生など、子どもを取り巻く生活環境はより危険度を高めている。

こうした現状において、学校は安心・安全な教育環境を提供するとともに、子どもたちに安全・防災に関わる知識を身につけさせ、危機回避能力を育てていくことが求められている。さらに、不測の事態を想定し、子どもたちに自ら状況を判断し行動できる力を身につけさせることも強く求められている。

そのために、校長は、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な指導を基盤にし、家庭・地域・関係機関との連携を図りながら、子どもたちの命を守るための防災教育・安全教育に取り組まなくてはならない。

そこで、本分科会では、子どもたちの安心・安全を確保するとともに、自らの命を守る防災教育・安全教育の推進の在り方と校長の果たすべき役割について究明する。

● 第10分科会 …… 危機対応

【研究課題】 子どもの健全育成と危機対応における校長の役割

【趣 旨】

地域社会における子どもたちを取り巻く環境は、日々変化しており、学校には、事故や不審者、自然災害のみならず、近年は、ミサイルやテロなどの新たな安全上の対応も求められている。また、スマートフォンやSNSの普及に伴う犯罪被害の顕在化、いじめや不登校、暴力行為、食物アレルギー、様々な感染症など学校が対応しなければならない危機管理は多様化している。

学校は、子どもたちの健やかな成長と自立して生きるために必要な「生きる力」を育むことをめざして教育活動を行う場である。そのため教職員には、あらゆる状況を主体的に判断し、適切に行動できる力を子どもたちに育成することとともに、子どもたちの安全を守り、安心して学習や活動ができる環境を整えることが求められている。

そのために、校長は、学校全体の危機管理意識を高め、危機管理体制の充実を図らなければならない。また、保護者や地域、関係機関と連携・協働する体制づくりに努め、危機の予測、防止、回避、対処、再発防止に向けて取り組むことが重要である。

そこで、本分科会では、校長が危機管理能力や組織を構築・運用する力を発揮し、子どもたちの健全な育成と様々な危機への対応を想定した学校経営にあたるために、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

【研究領域 V 教育課題】

● 第11分科会 …… 社会形成能力

【研究課題】 社会形成能力を育む教育の推進と校長の役割

【趣 旨】

核家族化や少子化などによる家庭の養育環境の変化や、地域コミュニティの変化に伴う地域活動参加の減少により、人間関係が希薄化し、子どもたちが家庭や地域において社会性を高めたり、コミュニケーション能力を育んだりすることができにくくなっている。このような状況の下、学校には、社会を構成する一員として他者と協力しながら、主体的によりよい社会を協働して形成しようとする能力や態度を育むことが求められている。併せて、地域とともにある学校として地域コミュニティの核となり、地域に貢献する学校づくりを進めていくことも大切である。

そのために、校長は、地域の人的・物的資源を積極的に活用し、体験的学習や問題解決的な学習を取り入れ、その中で、子どもたちが地域を誇りに思い、地域で一定の役割を担いながら、社会の一員としての自覚や自発性を身につけさせていかななくてはならない。また、キャリア教育などの視点を取り入れた教育活動により、社会的・職業的自立に必要な力、コミュニケーション能力を育み、自己実現を図りながら、よりよい社会の創造に積極的に関わろうとする人材を育成していくことが重要である。

そこで、本分科会では、子どもたちに社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動をどのように推進するのか、また、地域に誇りを持ち豊かな未来社会の実現に貢献する力を育むキャリア教育をどのように推進するのか、そしてそのための具体的方策と校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

● 第12分科会 …… 自立と共生

【研究課題】 共生社会の実現を図るための教育の推進と校長の役割

【趣 旨】

現代社会は、環境破壊や人権侵害などさまざまな課題に直面している。我々は、誰もが安全に安心して、他者との関わりやつながりを尊重し、よりよく生きるための共生社会をめざしていかなければならない。障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いに尊重し合える社会を築くための特別支援教育の推進や深刻化する環境問題に関心を高め、持続可能なよりよい社会をつくる担い手を育成することは学校教育において重要な教育課題である。

そのために、校長は、子どもたちが多様な在り方を認め合い、互いに尊重し合い、支え合う心を育む教育を推進しなければならない。子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、自立に向かう能力を可能な限り高め、適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育の推進が重要である。また、身近な生活や地域から環境保護に関心を高め、人が自然と共生し、これからの社会を形成する自分たちが主体的に地球環境保全に関わろうとする態度の育成など、共生の在り方を学ぶ教育活動の創意工夫が求められる。

そこで、本分科会では、子どもの自立や社会参加を図るための特別支援教育や環境教育等を推進するための具体的方策と校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

● 第13分科会 …… 連携・接続

【研究課題】 家庭・地域等との連携と異校種間接続の推進と校長の役割

【趣 旨】

少子化や都市化、情報化等の社会の変化や、人間関係や地域のつながりの希薄化などにより、地域社会や家庭における教育力が低下していることが指摘されている。さらには、基本的な生活習慣の欠如、自然体験等の体験活動の不足、規範意識やコミュニケーション能力の低下などの子どもたちにかかわる課題も挙げられている。学校においても、いわゆる「小1プロブレム」や「中1ギャップ」に代表されるように、各校種間接続の際に生じる不適応等、校種内だけでは解決できない課題も多くみられる。このような状況の下、学校には家庭や地域と一体となって子どもを育む姿勢と実践が求められている。

そのために、校長は、家庭・地域等と連携し、特色ある教育活動を展開する学校づくりの推進に加え、自校内の組織的、継続的な見直しに留まらず、関係する幼保・小・中の学びの連続性を重視した取組を推進する必要がある。

そこで、本分科会では、地域の核としての学校のあり方を学校経営に位置付け、家庭・地域等との連携や異校種間の円滑な接続を推進するために、校長として果たすべき役割や指導性について究明する。

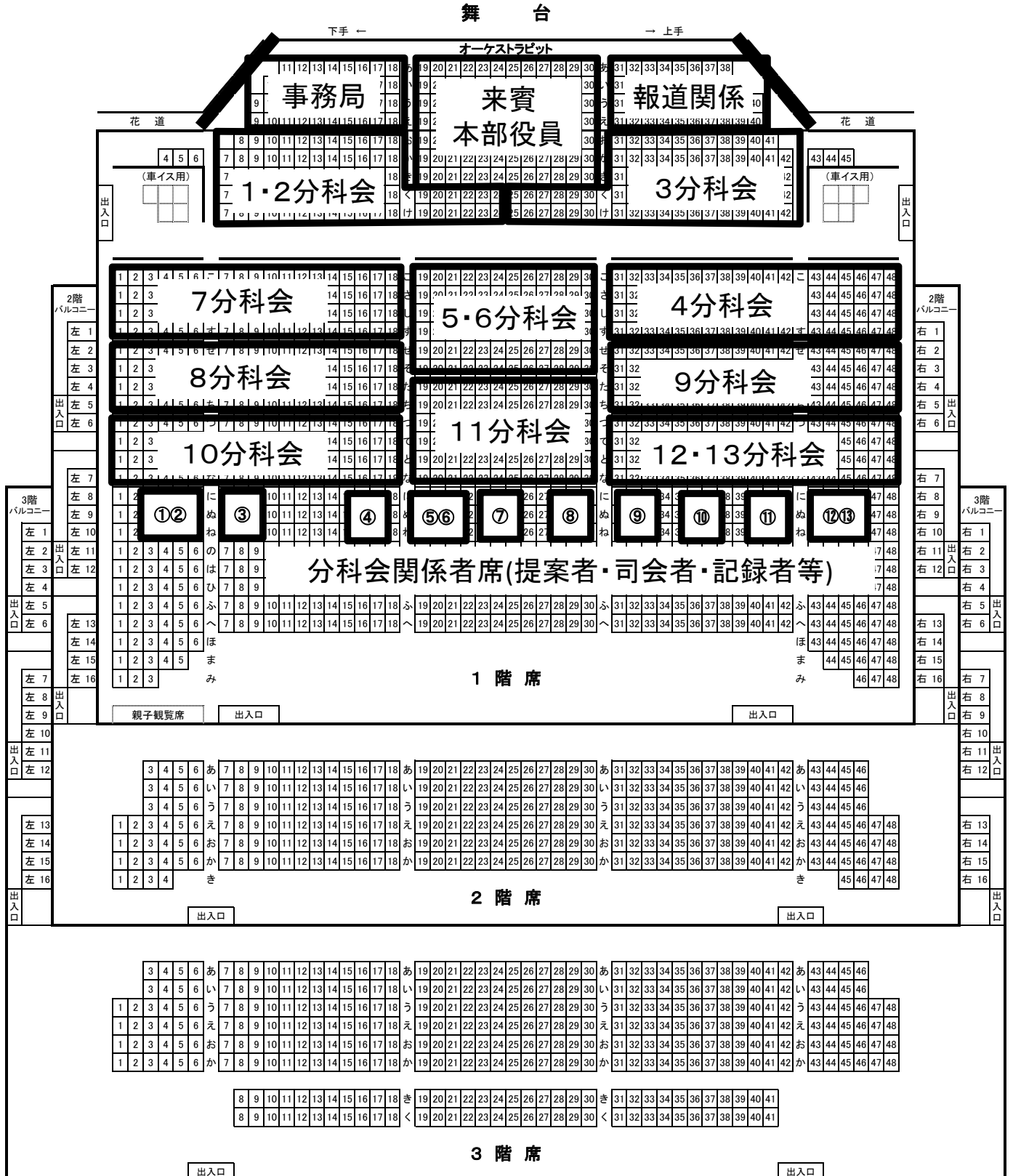
12 分科会関係者一覧

施設	会場		研究領域	分科会番号・領域・研究主題	
	会場名	記号			
1	とりぎん文化会館 1 F リハーサル室	A	I	学校 経営	① 経営ビジョン 子どもたちの未来に目を向けた創意と活力に満ちた 学校経営と校長の役割
					② 組織・運営 学校経営ビジョンの実現を図る活力ある組織・運営 と校長の役割
					③ 評価・改善 未来の創り手を育成する学校経営の評価・改善と校 長の役割
	とりぎん文化会館 1 F 第1会議室	C	II	教育 課程	④ 知性・創造性 知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメント
					⑤ 豊かな人間性 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント
	とりぎん文化会館 2 F 小ホール	D	III	指導 育成	⑥ 健やかな体 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメント
					⑦ 研究・研修 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進と校長 の役割
	とりぎん文化会館 2 F 第2会議室	E	IV	危機 管理	⑧ リーダー育成 これからの学校を担うリーダーの育成と校長の役割
⑨ 学校安全 自らの命を守る防災教育・安全教育の推進と校長の 役割					
とりぎん文化会館 2 F 第4会議室	F	V	教育 課程	⑩ 危機対応 子どもの健全育成と危機対応における校長の役割	
				⑪ 社会形成能力 社会形成能力を育む教育の推進と校長の役割	
とりぎん文化会館 2 F 第5・6会議室	G	VI	教育 課程	⑫ 自立と共生 共生社会の実現を図るための教育の推進と校長の役割	
				⑬ 連携・接続 家庭・地域等との連携と異校種間接続の推進と校長 の役割	
2	鳥取市福祉文化会館 2 F 会議室	H			
	鳥取市福祉文化会館 3 F 1・2会議室	I			
	鳥取市福祉文化会館 4 F 1・2会議室	J			

発表主題	提案者	司会者
未来を拓く力を育成するための『貫く』学校づくり ～小中一貫教育を推進する義務教育学校経営ビジョンの構築～	鳥取・鳥取市・久松小 大高 勝	鳥取・鳥取市・東郷小 長江 昭彦
学校経営ビジョンの具現化を図るために学校経営への参画意識をどうもたせるか	岡山・久米郡・加美小 梶並 裕子	岡山・久米郡・神目小 犬飼 建介
めざす学校像に迫るための効果的な学校評価の在り方と校長の役割	広島・廿日市市・四季が丘小 倉本 樹	広島・廿日市市・大野東小 光廣 敏樹
共通指標を根拠とした学校改善のグランドデザイン ～未来の創り手としての資質・能力の育成を目指して～	鳥取・西伯郡・岸本小 小澤 敦彦	鳥取・西伯郡・会見第二小 木村 朋子
主体的・対話的で深い学びにつながる組織的なカリキュラム・マネジメントの在り方	山口・大島郡・森野小 石本 和巳	山口・大島郡・明新小 林 哲也
豊かな人間性とたくましく生きる力をもつ子どもの育成 ～ひらく・かかわる・つながる境港～	鳥取・境港市・余子小 仲倉 孝浩	鳥取・境港市・上道小 金森 俊治
深く学び、自他を大切にする豊かな人間性を育む ～自尊感情に支えられた学力を育てる取り組み～	広島・広島市・福木小 三吉 和彦	広島・広島市・早稲田小 坂口 智子
少子化が進む中山間地域における児童の体力向上と校長の役割	鳥取・日野郡・黒坂小 下村 敏彦	鳥取・日野郡・根雨小 其山 守美
教職員が主体的に参画する研究・研修の推進 ～子ども主体の学びをつくるチームとしての学校の取組を通して～	広島・福山市・御野小 迫田 靖恵	広島・福山市・藤江小 姫野 優子
若い教師を育てるための学校組織と指導力向上のための研修に関わる校長の役割	鳥取・鳥取市・宝木小 長谷 博文	鳥取・鳥取市・倉田小 古澤 豪秀
連携を通したリーダー育成と校長の役割	山口・周南市・夜市小 久保田 尚	山口・周南市・大河内小 勢一 嘉治
次代を担うリーダー・プレリーダーの育成をめざして ～大量採用時代におけるリーダー育成について～	鳥取・米子市・明道小 細田 昌之	鳥取・米子市・加茂小 村中 祥宏
自ら状況を判断し、自らの命を守る防災・安全教育の推進 ～新見市内17校の連携と取組の推進～	岡山・新見市・萬歳小 高下 伸晃	岡山・新見市・本郷小 古玉浩一郎
安心・安全な学校体制づくりと生きる力を育む安全教育の推進 ～安心・安全な学校づくりに向けた校長の役割とリーダーシップ～	鳥取・鳥取市・美和小 安田 政彦	鳥取・鳥取市・青谷小 長谷川 隆
危機対応の視点からの学校運営及び校務改善の工夫Ⅱ ～多忙感の解消を通して～	鳥根・浜田市・雲雀丘小 齋藤 祥文	鳥根・浜田市・美川小 岡田 憲明
安心・安全で自分を発揮できる居場所づくり ～学校体制づくりと危機管理意識の向上をめざして～	鳥取・東伯郡・赤碕小 小木佐智子	鳥取・東伯郡・浦安小 藤原 彰二
心を育て、社会形成能力を高める ～自己肯定感向上の取組を通して～	岡山・瀬戸内市・邑久小 神崎 卓	岡山・瀬戸内市・裳掛小 木村 康志
倉吉に誇りと愛着をもち、自己実現を図る子どもの育成 ～社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動を推進するための校長の役割～	鳥取・倉吉市・上灘小 山根 操	鳥取・倉吉市・成徳小 堀 良一
一人一人の自立を目指した特別支援教育の推進 ～個のニーズに応じた支援体制の充実に向けて～	鳥根・仁多郡・八川小 三島 啓介	鳥根・仁多郡・横田小 川田 勝巳
保幼小の円滑な連携・接続の在り方と校長の役割 ～育ちと学びをつなぐ支援体制の構築に向けて～	鳥取・米子市・淀江小 加藤 渉	鳥取・米子市・伯仙小 松嶋 和広

13 全体会座席図

とりぎん文化会館 梨花ホール座席案内図



14 大会に参加される方への連絡事項

(1) 参加申込について

- ① 参加者は6月27日（木）までに参加申込票に参加費を添えて各県小学校長会事務局に申し込んでください。なお、参加申込票は第二次案内とともに送付します。
- ② 参加費の返金はいたしません。後日、大会報告書をお届けします。
- ③ 参加費領収証は大会当日、受付でお渡しする大会要項に入れておきます。
- ④ 参加についての変更は、8月26日（月）までに各県小学校長会事務局へご連絡ください。

(2) 大会当日の対応について

- ① 開会式の座席は、「県別の座席」ではなく「分科会ごとの座席」（12頁参照）となります。昼食及び分科会会場への移動を円滑に行うためのものですので、ご協力をお願いします。
- ② 当日、受付では出席確認を行いませんので、急な欠席の場合は、他の参加者または各県の市郡等の代表の方に、要項等の持ち帰りを依頼してください。

(3) 宿泊申込について

- ① 宿泊を希望される方は、参加申込票にご記入ください。観光シーズンでもあり、宿泊施設の少ない鳥取市では個人による確保が難しくなることが予想されます。業者を通して大会用のホテルを確保されることをお勧めします。
- ② 宿泊確認書及び請求書・宿泊のご案内などにつきましては、「日本旅行 Tis 鳥取支店」から、10月4日（金）までに、参加者個人に送付します。
- ③ 宿泊費は、10月18日（金）までに、参加者個人で指定の口座にお振込みください。
- ④ 宿泊についての変更は、必ずFAXで「日本旅行 Tis 鳥取支店」へお願いします。
- ⑤ 宿泊施設については、下記「宿泊のご案内」から宿泊記号をお選びください。
- ⑥ 宿泊に関するお問い合わせは、すべて「日本旅行 Tis 鳥取支店」にお願いいたします。

(4) 駐車場について

- ① 全体会場及び分科会会場周辺の駐車場には限りがあります。できるだけ、公共交通機関や貸し切りバス等を利用してご来場ください。
- ② 貸し切りバス等の駐車場の斡旋は行いません。

宿泊のご案内

記号	ホテル名	部屋タイプ (ツインは 2名利用)	1泊朝食付代金		朝食内容 提供時間
			11月7日(木)	11月8日(金)	
ア	ホテルニューオータニ鳥取	ツイン	9,000 (2名利用お1名様)	9,000 (2名利用お1名様)	和洋ビュッフェ 7:00 - 10:00
イ	鳥取シティホテル	シングル	8,000	8,000	和洋バイキング 7:00 - 9:00
ウ	鳥取ワシントンホテルプラザ	シングル	12,000	12,000	和洋バイキング 7:00 - 9:30
エ	ホテルレッシュ鳥取駅前	シングル	7,500	7,500	和洋バイキング 7:00 - 9:30
オ	ホテルアルファワン鳥取	シングル	7,500	7,500	和洋バイキング 7:00 - 9:30
		ツイン	8,000 (2名利用お1名様)		

申込先

〒680-0835 鳥取県鳥取市東品治町111-1 日本旅行 Tis 鳥取支店
 (TEL) 0857-24-7322 (FAX) 0857-24-4927
 口座番号 みずほ銀行 十五号支店 普通 3106860 (株) 日本旅行

申し込み内容の変更・取消

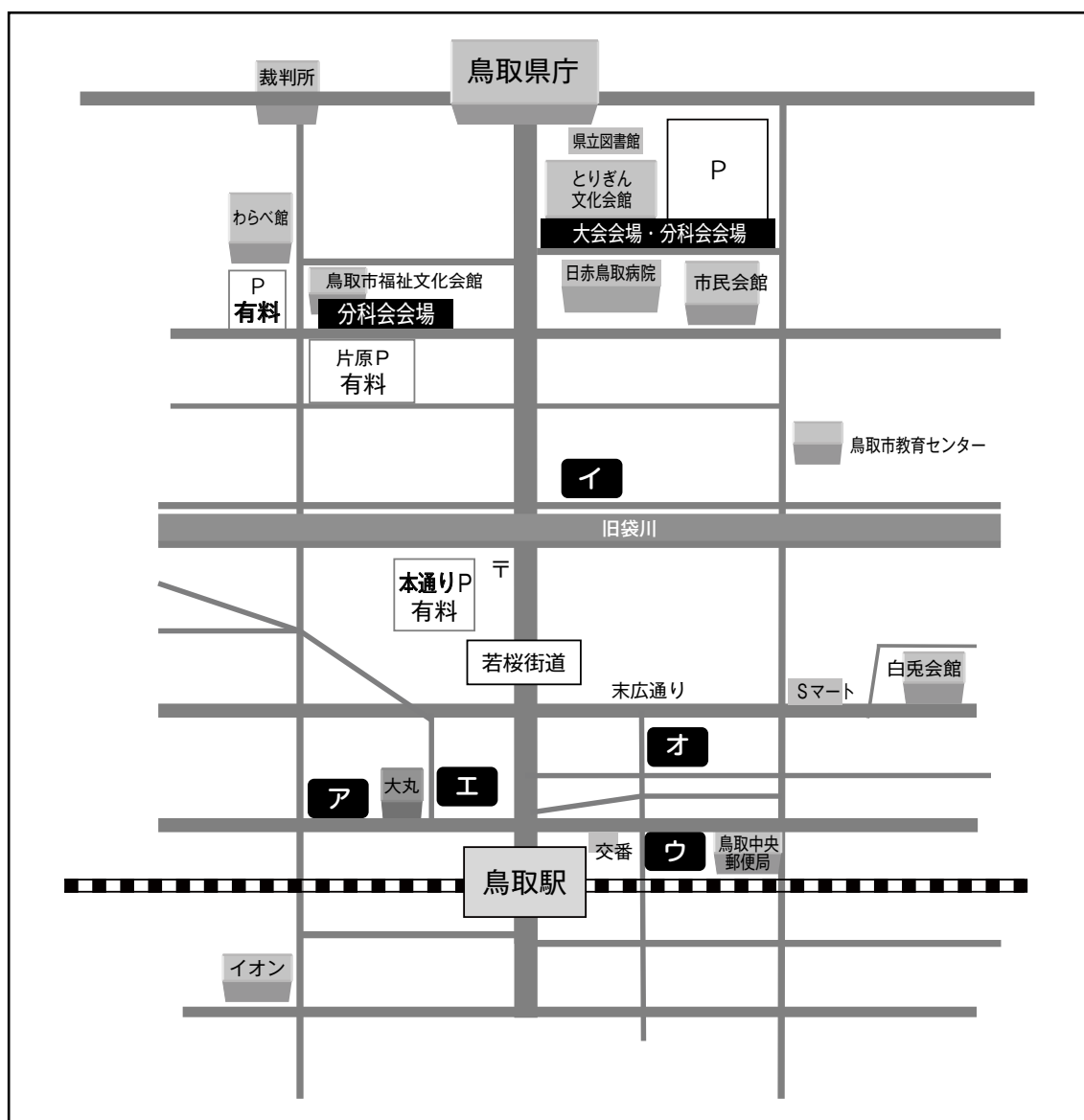
変更・取消は、FAXにてご連絡ください。

日本旅行 Tis 鳥取支店 (FAX) 0857-24-4927

取消の場合は、下記のとおり取消料が必要となります。

期 日	取 消 料
2019年10月20日まで	無 料
2019年10月21日～10月27日まで	宿泊代金 30パーセント
2019年10月28日～11月5日まで	宿泊代金 50パーセント
2019年11月 6日～当日	宿泊代金 100パーセント

宿泊ホテル及び会場周辺の駐車場案内



●ホテル

- アーホテルニューオータニ鳥取
(JR鳥取駅から徒歩 3分)
- イー鳥取シティホテル
(JR鳥取駅から徒歩 8分)
- ウー鳥取ワシントンホテルプラザ
(JR鳥取駅から徒歩 2分)
- エーホテルレッシュ鳥取駅前
(JR鳥取駅から徒歩 2分)
- オーホテルアルファワン鳥取
(JR鳥取駅から徒歩 5分)

●駐車場

- とりぎん文化会館 (利用者無料)
鳥取市尚徳町101番地 5
- わらべ館 (有料) 鳥取市西町 3丁目202
- 片原駐車場 (有料) 鳥取市片原 2丁目206
- 本通りパーキング (有料)
鳥取市栄町107番地 1

※上記駐車場は一般の駐車場です。大会専用にご確保しておりませんのでご注意ください。

15 各県小学校長会事務局へのお願い

- (1) 参加者名簿一覧（分科会別）のデータ及び大会参加申込票は、7月12日（金）までに、鳥取県小学校長会事務局まで送信・送付してください。
- (2) 参加費は、7月22日（月）までに、下記にお振込みください。

【郵便振込の場合】

口座番号 01490-4-15823

口座名 鳥取県小学校長会

【ゆうちょ銀行以外からお振込の場合】

預金種目 当座

店名 一四九（イチヨンキュウ）

店番 149

口座番号 0015823

名義 鳥取県小学校長会

- (3) 参加者の変更は、「鳥取県小学校長会事務局」にお願いします。
(TEL) 0857-29-4970 (FAX) 0857-29-4972

16 中国地区理事・提案者・司会者・記録者・分科会運営委員等への連絡

- (1) 「提案原稿」「協議の柱」の提出は、7月31日（水）までに「鳥取大会研究推進委員会・米子市立大篠津小学校 池山 圭吾」（問い合わせも）にお願いします。

米子市立大篠津小学校 池山 圭吾
(TEL) 0859-28-6123 (FAX) 0859-28-6153
E-mail : ikeyama_ki@mailk.torikyo.ed.jp

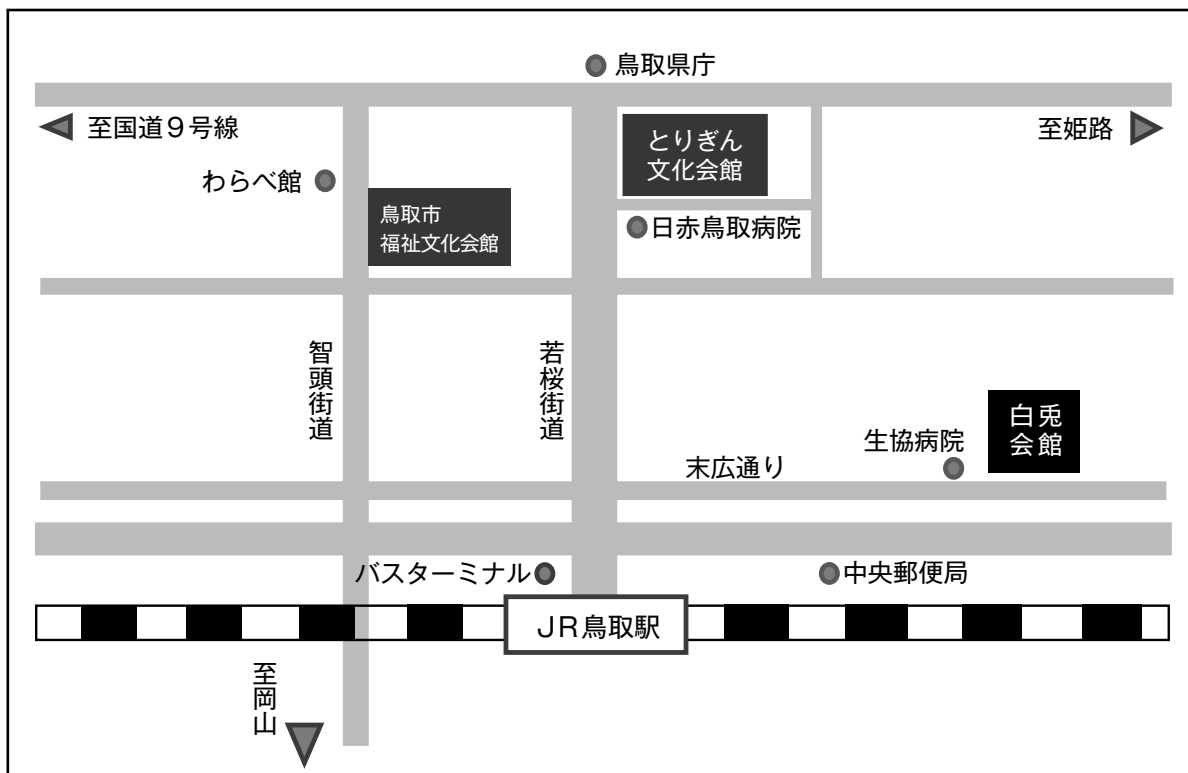
- (2) 中国地区小学校長会第2回理事会を、大会前日の11月7日（木）14時30分から、「白兔会館2F飛翔」において開催します。
- (3) 大会当日の11月8日（金）12時40分から、各分科会会場において、分科会打合せを行います。参加者は、提案者、司会者、記録者、分科会運営委員、会場責任者です。詳細は後日、ご本人宛にご案内いたします。

鳥取大会に関する連絡・問い合わせ先

〒680-0052 鳥取県鳥取市若桜町31番地 カナイビル3F
鳥取県小学校長会事務局

(TEL) 0857-29-4970 (FAX) 0857-29-4972
E-mail : ken-syou-kou@pure.ocn.ne.jp

17 鳥取大会会場のご案内



◆大会会場への市内交通

<施設1> とりぎん文化会館（鳥取県立県民文化会館）

徒歩：JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ20分

バス：鳥取バスターミナル（JR鳥取駅横）から湖山・鳥大・賀露線など
「県庁日赤前」下車（所要時間5分）

100円循環バス「くる梨」で「県民文化会館(とりぎん文化会館)」下車
青コース（18分） 赤コース（16分） 緑コース（11分）

車：JR鳥取駅から5分（タクシー）

<施設2> 鳥取市福祉文化会館

全体会場（とりぎん文化会館）から徒歩約5分 担当者のご案内します。

帰路のバス：100円循環バス「くる梨」

「とりぎん文化会館」で乗車 鳥取駅下車 赤コース（17分）
青コース（12分）

◆理事会会場への市内交通

白兎会館

徒歩：JR鳥取駅から10分

車：JR鳥取駅から3分（タクシー）

バス：鳥取バスターミナルから100円循環バス「くる梨」で「生協病院前」下車
赤コース（4分） 徒歩1分